

財務省第7入札等監視委員会 令和5年度第3回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和6年3月25日(月) 金沢国税局大会議室	
委員	委員長 大野 尚弘 (金沢学院大学経済学部 教授) 委員 舟橋 秀明 (金沢大学人間社会研究域法学系 准教授) 委員 浮田 美穂 (弁護士法人兼六法律事務所)	
審議対象期間	令和5年10月1日 ~ 令和5年12月31日	
契約の現状の説明	令和5年10月~令和5年12月の契約実績	
抽出案件	3件	(備考)
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : 令和5年度清明宿舍1号棟ほか外壁改修等設計業務 契約相手方 : 株式会社ピートープ (法人番号 3230001005880) 契約金額 : 3,960,000円 契約締結日 : 令和5年10月19日 担当部局 : 北陸財務局
随意契約(公共工事)	1件	契約件名 : 令和5年度福井県内合同宿舍量水器取替え工事 契約相手方 : 明電設備株式会社 (法人番号 2210001004092) 契約金額 : 4,290,000円 契約締結日 : 令和5年10月23日 担当部局 : 北陸財務局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 確定申告コールセンターの運營業務 契約相手方 : 株式会社NTTマーケティングアクトProCX (法人番号 5120001238738) 契約金額 : 21,989,000円 契約締結日 : 令和5年10月16日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約(物品役務等)	-	
応札(応募)業者数1者関連	-	
委員による意見・質問、それに対する回答等	以下のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他	なし	

意見・質問	回答
<p>【契約一覧表】 ・北陸財務局</p> <p>なし</p> <p>・金沢国税局</p> <p>確定申告書封入作業等業務と確定申告に係るお知らせ通知書・納付書の封入・封かん等業務について、類似業務のようであることから、調達をまとめることが可能ではないか。</p>	<p>なし</p> <p>前者については、封入物の種類が多く、作業内容が複雑となることから、封入作業を行うための設備や場所が必要となる一方、後者は、封入物の種類が少なく、作業内容が比較的簡単なことから、調達をまとめると応札者が限定されることが懸念される。</p>
<p>【案件 1】 「令和5年度清明宿舍1号棟ほか外壁改修等設計業務」</p> <p>契約相手方 :株式会社ビートープ (法人番号 3230001005880)</p> <p>契約金額 :3,960,000円</p> <p>契約締結日 :令和5年10月19日</p> <p>担当部局 :北陸財務局</p> <p>一番高い入札金額が4,000万円と、最低入札価格と10倍以上の開きがあるが、なぜこうなったか分析しているか。</p> <p>入札を辞退するとペナルティがあるのか。</p> <p>落札率が低いが、業務実施上問題無いか調査はしていないのか。</p> <p>競争参加資格を「B」等級であるところを「C」等級まで広げているが、落札者は何等級だったのか。拡大したことで応札に影響はあったのか。</p>	<p>極端に高い入札金額で応札する者は過去にも何度かいた。入札金額が一千万円単位であることから、適正に必要な費用を積上げたものとは考えにくく、単に入札参加実績を積む目的である等が推測されるが、真意は把握していない。</p> <p>無い。 今回辞退した者は過去にも辞退しており、実態としてそうした業者は存在する。</p> <p>本件は低入札価格調査対象となる規模ではないため、調査は行っていない。</p> <p>落札者は「B」等級であったが、応札者6者のうち2者が「B」等級、4者が「C」等級であった。</p>

意見・質問	回答
<p>【案件 2】 「令和5年度福井県内合同宿舍量水器取替え工事」</p> <p>契約相手方 : 明電設備株式会社 (法人番号 2210001004092)</p> <p>契約金額 : 4,290,000円</p> <p>契約締結日 : 令和5年10月23日</p> <p>担当部局 : 北陸財務局</p> <p>入札参加の可能性がある福井市内指定事業者9者のうち、入札参加しなかった8者に積極的な声掛けなどが必要だったのではないかと。</p> <p>参加しなかった理由に繁忙期を挙げられているが、時期をずらして閑散期に発注することも1者入札解消に有効ではないかと。</p> <p>物価上昇など市場状況が変わっているが、どのような価格を適用しているのか。</p> <p>参考意見として述べるが、過去の数字は意味が無く、その時の経済状況に応じた不断の見直しが必要と思われる。</p>	<p>これまでも個別の発注機会等に、業者とのつながりを持つよう努めているが、特定の業者に対して入札参加を促すことは控えている。</p> <p>実情として当局案件の受注経験を有する者はごく限られており、引き続き機会を捉えて参加者の拡大に努めて参りたい。</p> <p>量水器の使用期限は何年何月と指定されており、既設品を最大限有効に使うために、当該有効期限を目指して数カ月前に発注手続きを行っている。そのため発注時期を大きく変更することは難しいと考えられるが、御意見を踏まえ、1月程度の短期の変更について、今後検討したい。</p> <p>直近の市販刊行物の価格を適用している。しかし当該価格は少し前の時点での市場調査等を根拠としているため、正確に現時点の情勢を反映しているとは言い難いと思われる。</p> <p>今後の検討事項とさせていただきます。</p>
<p>【案件 3】 「確定申告コールセンターの運営業務」</p> <p>契約相手方 : 株式会社NTTマーケティング アクトProCX (法人番号 5120001238738)</p> <p>契約金額 : 21,989,000円</p> <p>契約締結日 : 令和5年10月16日</p> <p>担当部局 : 金沢国税局</p> <p>確定申告期限が延長されたことに伴い、確定申告コールセンターの運営業務も延長したのか。</p> <p>一者応札となった要因は何か。また、解消の取組は何か。</p>	<p>人員確保の問題等から、既存業者では契約の延長が困難なことから、契約期間満了後は、常設の電話相談センターにおいて、国税局職員が電話相談対応を行っている。</p> <p>コールセンターの運営ノウハウや、一定数のオペレーターや機器の確保が困難であることが要因であると思われる。</p> <p>今後も引き続き、他の国税局を含め、調達実績のある業者への声掛けを徹底するなど、1者応札解消に向けて積極的に取り組んでいきたい。</p>